

# 第1学年 生活科 学習構想案

菊池市立 花房小学校  
指導者 教諭 津田 歩

## 1 単元構想

単元名	「じぶんで できるよ」 東京書籍 新編 あたらしいせいかつ		
単元の目標	<p>○家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かる。</p> <p>○家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができる。</p> <p>○家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。</p>		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、家庭での生活は、互いに支え合っていることが分かり、家庭での自分の役割に気付いている。	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、家庭での家族のことやそのよさ、自分でできることなどについて考えている。	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。
<b>単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）</b>			
家庭生活をよりよくするために取り組んだことを生かして、家族の笑顔を増やせるように自分にできることを続けたり、挑戦したりしようとする児童			
単元を通じた課題		本単元で働かせる見方・考え方	
家族のみんなが笑顔で生活できるように、自分にできることはどんなことだろう。		家庭生活において、それぞれのよさや果たしている仕事、役割があること、それらと自分との関わりに気づき、互いに支え合っていること、自分の家庭を構成している大切な一人であることがわかること。	
<b>指導計画と評価計画（12時間取扱い）</b>			
過程	時間	学習活動	具体的評価規準 ★は、記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	<p>○家で自分が毎日していることについて考える。</p> <p>○家庭での生活を振り返り、家族がしていること、自分がしていることについて調べる。</p> <p>○自分の生活の様子や家の人の生活を比べて気づいたことを話し合う。</p>	<p>【知】ワークシート・発言</p> <p>○家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることが分かっている。</p> <p>【思】ワークシート・発言</p> <p>○家族のことや自分がしていることについて表現している。</p>
二	6	<p>○家庭生活の中で、家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。</p> <p>○自分にできることや挑戦したいことを、友達同士で教え合う。</p> <p>○自分でできることや挑戦したいことを決めて、計画を立てる。 (家庭で実行)</p>	<p>【知】ワークシート・発言</p> <p>○自分でできそうなことを集めている。</p> <p>★【思】ワークシート・発言</p> <p>○家庭生活における役割を考え、自分にできそうなことを試しながら、「挑戦したい「しごと」」を考えている。</p> <p>★【主】ワークシート・発言・活動</p> <p>○家族を笑顔にするために、うまくできるように計画をし、練習をしたり、コツを聞いたりしている。</p>
三	3	<p>○家で取り組んだ自分でできることや挑戦したことを発表する準備をする。</p> <p>○家で取り組んだことや挑戦したことを実演や絵、文等で表現し友達に伝える。</p> <p>○これからも続けていくための計画をする。</p>	<p>★【知】ワークシート</p> <p>○家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。</p> <p>★【思】ワークシート・交流</p> <p>○家庭で取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。</p> <p>★【主】ワークシート・発言</p> <p>○自分でできることを続けることや生活リズムや健康についても気を付けて生活しようとしている。</p>

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所										
小学校学習指導要領 学校、家庭及び地域の生活に関する内容 内容（2）家庭と生活										
教材・題材等の価値										
本教材は、家庭生活を振り返ることで、自分でできていることやできるのにしていないこと、家族に支えてもらっていることに気付き、家族に感謝する心をもつとともに、家族の一員として自分にできることに取り組んでいこうとすることに適している。										
本単元における系統										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>就学前 服の着脱 おもちゃの片づけ 家庭でのお手伝いなど</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>1年「がっこう だいすき」 学校や通学路を探検し、施設とその役割、人々との関わりについて考える。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>1年 「もうすぐ 2年生」 1年を振り返り、自分の成長と支えてくれた人に感謝し、2年生への意欲をもつ。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="vertical-align: top;"> <p>1年「じぶんで できるよ」 家庭生活を振り返り、家族の一員としての自分の役割に気付き、家族を笑顔にすることについて考える。</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="vertical-align: top;"> <p>2年「あしたへ ジャンプ」 成長を支えてくれた人への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもつ。</p> </td> <td></td> </tr> </table>		<p>就学前 服の着脱 おもちゃの片づけ 家庭でのお手伝いなど</p>	<p>1年「がっこう だいすき」 学校や通学路を探検し、施設とその役割、人々との関わりについて考える。</p>	<p>1年 「もうすぐ 2年生」 1年を振り返り、自分の成長と支えてくれた人に感謝し、2年生への意欲をもつ。</p>		<p>1年「じぶんで できるよ」 家庭生活を振り返り、家族の一員としての自分の役割に気付き、家族を笑顔にすることについて考える。</p>			<p>2年「あしたへ ジャンプ」 成長を支えてくれた人への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもつ。</p>	
<p>就学前 服の着脱 おもちゃの片づけ 家庭でのお手伝いなど</p>	<p>1年「がっこう だいすき」 学校や通学路を探検し、施設とその役割、人々との関わりについて考える。</p>	<p>1年 「もうすぐ 2年生」 1年を振り返り、自分の成長と支えてくれた人に感謝し、2年生への意欲をもつ。</p>								
	<p>1年「じぶんで できるよ」 家庭生活を振り返り、家族の一員としての自分の役割に気付き、家族を笑顔にすることについて考える。</p>									
	<p>2年「あしたへ ジャンプ」 成長を支えてくれた人への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもつ。</p>									
児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）										
<p>■本単元の学習に関する意識の状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">調査内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族がいてよかったと思うことは、どんな時ですか。 ・家族みんなで旅行に行った時 ・一緒にご飯を食べているとき ・病気になった時</td> </tr> <tr> <td>家での生活で、自分でできることをしていますか。 ・している 1人 ・ときどきしている 3人 ・頼まれたときしている 5人 ・していない 0人</td> </tr> <tr> <td>家での生活で、自分でできることは、どんなことをしていますか。 ・弟や妹のお世話 ・風呂そうじ ・皿洗い ・洗濯物たたみ</td> </tr> <tr> <td>家族が笑顔であるためには、どうしたらよいと思いますか。 ・手伝いをする</td> </tr> </tbody> </table> <p>■考察</p> <p>家での仕事（お手伝い）については、いろいろな役割があり、家の人から頼まれたときは頑張っている児童が多い。している仕事で多いものは、弟や妹の世話や配膳や食器の片づけである。本学級は長子が多いのが理由として考えられる。</p> <p>児童は、「自分の仕事」「家族のためにしている」というよりも、「お手伝い」という意識が強く、自分の仕事だから責任をもってしたり家族のためにしたりするという考えには、至っていない児童が多い。</p>		調査内容	家族がいてよかったと思うことは、どんな時ですか。 ・家族みんなで旅行に行った時 ・一緒にご飯を食べているとき ・病気になった時	家での生活で、自分でできることをしていますか。 ・している 1人 ・ときどきしている 3人 ・頼まれたときしている 5人 ・していない 0人	家での生活で、自分でできることは、どんなことをしていますか。 ・弟や妹のお世話 ・風呂そうじ ・皿洗い ・洗濯物たたみ	家族が笑顔であるためには、どうしたらよいと思いますか。 ・手伝いをする				
調査内容										
家族がいてよかったと思うことは、どんな時ですか。 ・家族みんなで旅行に行った時 ・一緒にご飯を食べているとき ・病気になった時										
家での生活で、自分でできることをしていますか。 ・している 1人 ・ときどきしている 3人 ・頼まれたときしている 5人 ・していない 0人										
家での生活で、自分でできることは、どんなことをしていますか。 ・弟や妹のお世話 ・風呂そうじ ・皿洗い ・洗濯物たたみ										
家族が笑顔であるためには、どうしたらよいと思いますか。 ・手伝いをする										

## 3 指導に当たっての留意点

- 自分にできる仕事について考えさせることを通して、家族の役に立ちたいという気持ちをもたせる。
- 家族のよさや、家族の一員として役に立っていることを自覚できるように、学級便りで保護者に単元のねらいや学習内容を家庭にも事前に知らせ、協力を依頼する。
- 家庭の独自性を尊重し、各家庭のプライバシーに十分配慮した計画をする。

#### 4 ESDとの関連

- 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）
  - 多様性…家庭には、様々な仕事や役割があること
  - 公平性…家庭生活において、年齢や体力に見合った役割をもち、協力しあうこと
  - 責任性…家庭生活において自分にできることを見つけ、取り組んでいく。
  
- 本学習で育てたいESDの資質・能力
  - ・未来像を予測して計画を立てる力
    - 現在の自分の生活を振り返り、どのような姿になりたいかを考え、実践計画を立てる。
  - ・進んで参加する態度
    - 計画をもとに、家庭での実践を通して自分から進んで家族に貢献しようとする。
  
- 本学習で変容を促すESDの価値観
  - ・幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。
  
- 達成が期待されるSDGs
  - 5 ジェンダー平等を実現しよう
  - 16 平和と公正をすべての人に